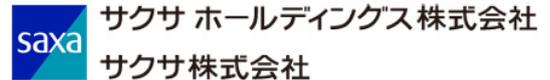


各位



「地域共通診察券発行システム」の提供開始！

～京都府下3市1町で、住民自身が医療・健康情報を管理～

サクサホールディングス株式会社の中核事業会社であるサクサ株式会社（代表取締役社長 越川雅生）は、特定非営利活動法人 日本サスティナブル・コミュニティ・センター（以下「SCCJ」という。）を代表とするプロジェクト（「地域共通診察券」（仮称：すこやか安心カード）発行による安心、安全な健康医療福祉情報基盤整備事業）が、平成23年1月中を目処に3市1町（京都市、宇治市、城陽市、久御山町）の対象地域（約79万世帯）で実証サービスを開始することに伴い、地域共通診察券（非接触ICカード）発行システムの提供を開始いたします。

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化、多様化により、医療機関への負担が増加しているにもかかわらず、京都市では医療機関の減少が続いていました。本事業では、これらの課題を解決するために、独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長 北岡有喜博士が考案し、SCCJ、京都医療センター他3社が開発、平成20年10月から地域住民に無償で提供している個人向け健康情報管理サービス「ポケットカルテ[※]」を基盤として、地域共通診察券発行や健康医療福祉履歴管理、医療圏リソース管理を統合的に管理することにより、地域医療に関わる医療資源（医療従事者、医療機器、設備）をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用することを可能とし、質の高い安心、安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としています。

サクサ株式会社は、これまで非接触ICカードを用いたキャンパス、オフィスおよび病院向け等にICカードソリューションを展開しており、多くのお客様にご利用いただいております。今回、「地域共通診察券」発行业務において共通診察券用ICカード、ICカード発行機、各医療機関用ICカードリーダーライター等の「共通診察券発行システム」を納入いたします。

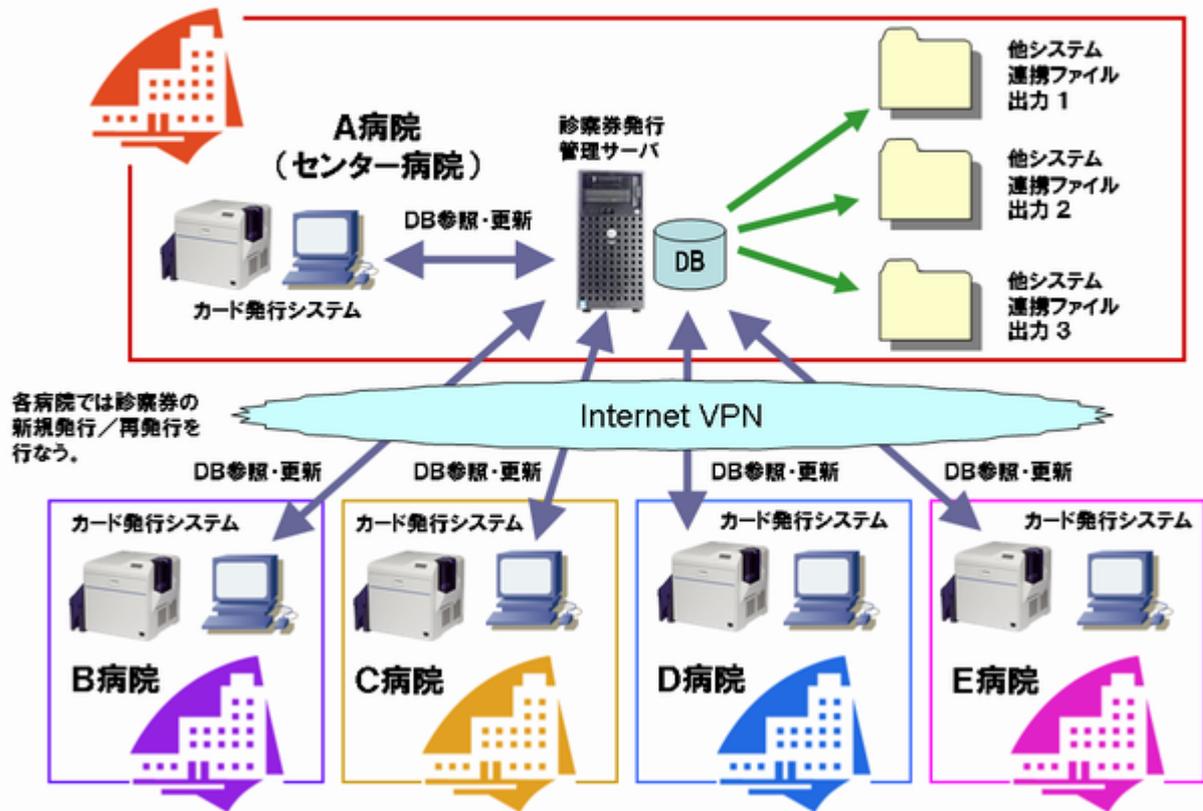
本サービスを利用する地域住民にとって、1枚の地域共通診察券で地域内の対応医療機関であれば、どこでも共通の診察券としてご利用でき、これまでのように何枚もの診察券を持ち歩く必要もなくなります。また、ICカード機能により、薬手帳や医療費明細書、様々な検査結果など、対応医療機関から提供される医療情報を自分自身で簡単、かつ、安全に管理することが可能となります。

今後は、同様の課題を抱えている他の市町村に対しても、本プロジェクトを通じ、積極的に取組むことで医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及に貢献してまいります。

【目標発行枚数】

地域共通診察券（非接触ICカード（TN2）） 今後5年間で 500,000枚

地域共通診察券発行管理システム



地域共通診察券

※ポケットカルテ

独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長 北岡有喜博士が考案し、SCCJ、京都医療センター他3社が開発、平成20年10月からSCCJが地域住民に無償で提供している個人向けの健康情報管理サービスです。一人ひとりの日々の健康、医療、福祉履歴情報を電子化して一元に管理し、簡単に閲覧可能とすることで、自分自身の過去の履歴情報を根拠とした質の高い医療サービスを受診できるようになります。

〈システムに関するお問い合わせ〉

サクサ株式会社 ソリューション営業本部 第二営業部 担当：粕谷（かすや） TEL：03-5791-5532

〈報道機関からのお問い合わせ〉

サクサ株式会社 総務人事部 総務広報担当：福田（ふくだ） TEL：03-5791-5512